

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2024年7月30日

(宛先)
滋賀県知事

提出者

住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)
滋賀県甲賀市水口町笹が丘1番地4

氏名(法人にあつては、名称および代表者の氏名)
キョーリン製薬グループ工場(株)滋賀工場
滋賀工場長 辻本 太一

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項 → 第25条第4項
第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項の規定に基づき、[事業者行動計画を策定 (変更) 事業者行動報告書を作成] したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあつては、名称および代表者の氏名)	キョーリン製薬グループ工場株式会社 代表取締役社長 大野田 道郎
事業者の住所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地)	東京都千代田区大手町一丁目3番7号

1 事業所の概要

事業所の名称	キョーリン製薬グループ工場(株)滋賀工場					
事業所の所在地	滋賀県甲賀市水口町笹が丘1番地4					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	1	6	5	2	※ 産業分類・細分類名称を記載
事業の概要	医薬品の「製剤」「包装」「試験」における製造受託					
従業員の数	153	人	操業時間	7.45	時間/日	
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者				
	<input type="checkbox"/>	従業員数が21人以上であつて、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者				
	<input type="checkbox"/>	任意提出事業者				
主要な設備	ボイラ	3	台	熱源設備	20	台
	コンプレッサ	3	台	空気調和設備	50	台
				照明設備	1500	台
				その他		

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	2019	年度	報告対象年度	2023	年度
	終了年度	2024	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

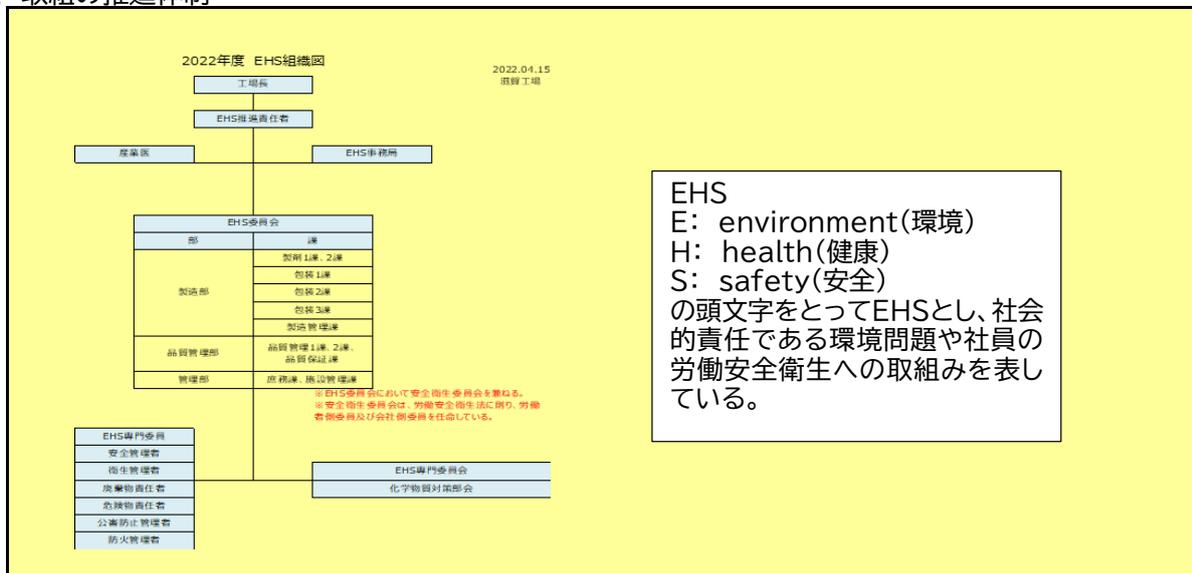
注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

当社は、キョーリン製薬グループの一員として医薬品製造受託会社の責務を果たすべく、全ての企業活動において、企業行動憲章に基づき、EHSマネジメントシステムを経営の重要な柱として位置づけ全社で取り組んでいます。当社の主な企業活動は工場の操業であり、「地球温暖化防止」「資源保護」「自然環境との調和」を重点テーマとする環境保全及び汚染予防に積極的に努めています。

環境マネジメントシステム(ISO14001)を十分に認識し、計画(Plan)、実行(Do)、点検(Check)、改善(Action)のサイクルを半永久的に回していくことによって、継続的にEHSの改善活動を行い、EHSマネジメントシステムを確立していきます。

2 取組の推進体制



3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

キョーリン製薬グループ工場(株)は、キョーリングroup全体のポリシーの元、環境問題への取り組みを人類共通の課題と捉え、省エネルギー・省資源、廃棄物の削減、化学物質の管理強化等、環境負荷物質の削減と、限りある資源の有効利用を推進し、目的・目標の設定と見直しを都度行うことによって、環境保全および汚染予防に、主体的、積極的に取り組んでいます。

滋賀工場においては、ISO14001の認証取得を目指し、CO₂削減、廃棄物削減に向けた活動を事業所で働く人全員で取り組み、2019年9月にISO14001の認証を取得した。省エネ法における第二種エネルギー管理指定工場にも指定された。

設備投資における低炭素への取り組みは、以下の通りです。

- ・研究所棟ヒートポンプチャラー経年劣化に伴う、モジュールチャラーへ更新
- ・コンプレッサー2台経年劣化に伴う、最新機種への更新
- ・蓄熱冷凍機、スクリーチャーからモジュールチャラーへ更新

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	コンプレッサー2号機、3号機更新 2019年	2019	2019年更新完了
2	設備導入	氷蓄熱冷凍機更新工事	2019年～2021年	2021年更新完了
3	設備導入	R22フロンガス封入エアコン更新工事	2019年～2023	2023年更新完了
4	運用改善	工場棟一部加湿蒸気送気停止による蒸気ロス低減	2022年度	継続
5	運用改善	新規導入した冷凍機の運転効率化	2022年～2024年	継続

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
<p>キョーリン製薬グループ全体でCO₂排出削減を目標に掲げている。2023年度を目標達成年度とし、CO₂排出量2019年度比 6%以上削減を目標(毎年▲1.5%を削減目標)に掲げていたが、目標達成年数を1年前倒してグループ全体で目標を達成する事が出来た。</p> <p>2023年度は、グループでの目標に合わせて、滋賀工場単独の目標を制定した。再生可能エネルギー使用と使用エネルギー削減への計画立案と運用として、以下を目標とする。</p> <p>1. CO₂排出量 2015年度比16.5%以上削減(再生可能エネルギーの購入による削減効果含む)</p> <p>2. 日常業務を通しての環境負荷(エネルギー使用量)低減 原単位対前年度比1.5%削減</p>	<p>CO₂削減は、電力のCO₂排出係数に大きく左右される。目標達成のためには、再生可能エネルギーの導入対応を実施。エネルギー消費原単位については、2019年度～2023年度までの5年平均で-5%の削減を達成する事ができた。前年対比では、-11%と悪良好な結果を残した。引き続き、前年対比1.5%削減目標を掲げ、対応する。</p>

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告					
		(2019)年度	(2020)年度	(2021)年度	(2022)年度	(2023)年度	
原油換算エネルギー使用量	kL	2,373	2,506	2,516	2,480	2,395	2,229
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	4,148	3,821	3,677	3,864	3,452	4,329
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	4,148	3,821	3,677	3,864	3,452	4,329
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂						
CH ₄	t-CO ₂						
N ₂ O	t-CO ₂						
HFCs	t-CO ₂						
PFCs	t-CO ₂						
SF ₆	t-CO ₂						
NF ₃	t-CO ₂						
エネルギー等原単位の推移							

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	再生可能エネルギー(電力)の購入	2023	使用電力の10%分を購入(293t-CO ₂)
2	再生可能エネルギー(ガス)の購入	2023	前年度使用実績の10%分を購入(135.2t-CO ₂)
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	キョーリン製薬グループ全体で2030年度目標対2015年度比-46%を目指し、適宜環境対策委員会を開催
2	
3	
4	
5	

エネルギーの導入対応を実施。エネルギー消費原単位については、2019年度～2023年度までの5年平均で-

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ()	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

#

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
		()年度				
再エネ電気設備での発電量	kWh					
上記のうち自家消費量	kWh					

7 その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに資する取組

(1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(2019)年度	(2020)年度	(2021)年度	(2022)年度	(2023)年度
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO ₂	4,148	3,821	3,677	3,864	3,452	4,329
エネルギー起源CO ₂ 【調整後排出係数】	t-CO ₂	4,148	3,821	3,677	3,864	3,452	4,329
【調整後排出係数】	kg- CO ₂ /kWh	0.418	0.334	0.318	0.351	0.311	0.434
特記事項							

(2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	(2023)年度
グリーン証書の購 入	t-CO ₂						
クレジットの購入	t-CO ₂						135
特記事項							

(3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケ ジュール	
1				
2				
3				

(4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

		計画開始年 度前年度の 保有台数	実績報告				
			(2019)年度	(2020)年度	(2021)年度	(2022)年度	(2023)年度
保有車輛の数	153	2	2	2	2	2	2
上記のうち 次世代自動車等の 数	台	0	0	0	0	0	0
特記事項							

(5) その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1	3R	生産で使用する資材はあらかじめ廃棄物が有価物に識別している。リサイクル可能なものは、出来るリサイクル化している。	毎年継続	—
2				
3				
4				
5				